

水稲直播栽培の地域適応性

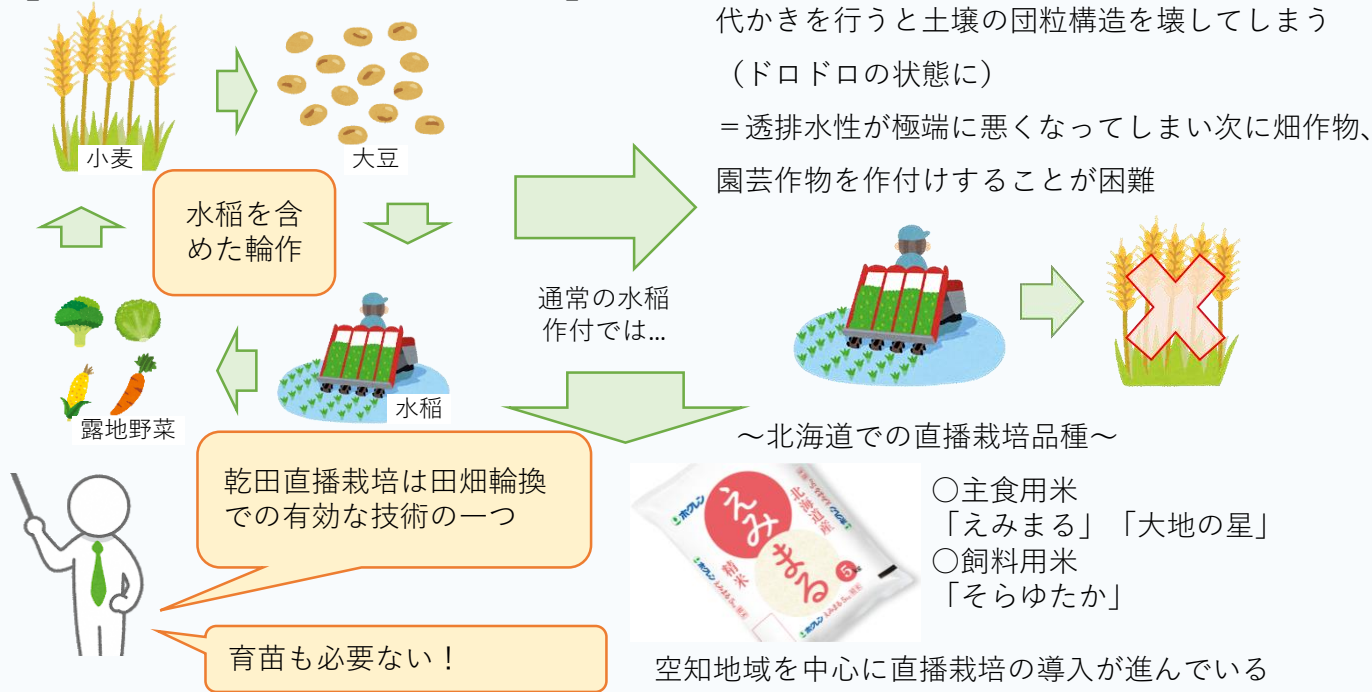
田畑輪換にむけた水稲直播技術の導入支援

活動年次：令和4～6年
対象：江別市全域

石狩農業改良普及センター本所
地域第二係

1 課題設定の背景 *****

【田畑輪換に必要な乾田直播栽培】



【現状の北海道での稲WCS】



米価の低迷、水田活用交付金の見直し、飼料価格高騰などにより稲WCS（Whole Crop Silage）の作付も望まれているが北海道での専用品種は現状ない...

北海道での稲WCS = 飼料用米品種or兼用品種 = 粃部分が多く栄養ロスが多い



江別地域では...
○乾田直播栽培の導入は進んでいない。農業者のイメージもあまりない...
○稲WCSの作付もほとんど行われていない

- 【目標1】：乾田直播栽培とはどんなものなのかを「知ってもらう」、「見てもらう」
- 【目標2】：江別地域で稲WCSの栽培実証、給与実証を行い、飼料の利用性を検討する

2 活動の経過 *****

活動1「えみまる」の乾田直播栽培の実証

- ・実証ほの設置（約30a）
- ・視察、研修会、個別対応での乾田直播栽培の紹介 ⇒ 「見てもらう」「知ってもらう」

活動2 稲WCS専用品種「つきはやか」の栽培実証および飼料給与実証

- ・実証ほの設置（約20a）
- ・収量、品質調査、牛への給与実証 ⇒ 飼料としての利用性について検討

3 活動の成果 *****

1. 乾田直播栽培技術の導入



4月施肥、は種作業
以降除草剤散布など管理
作業



7月：江別市議作況
8月：江別市水稻直播栽培講習会
江別市農業委員会作況
随時、直播栽培相談対応



10月収穫！
収量：493kg/10a タンパク質：6.9%
→十分な収量、品質を確保できた

農業者、関係機関(農協、市役所など)に乾田直播栽培がどういうものなのか研修会等を通じて知ってもらった！

⇒次年度以降の栽培の参考になったとの声も！取り組み農業者も増える見込み

2. 稲WCS専用品種の導入検討

○現状出ている品種の中で最北品種「つきはやか」の栽培実証



左：「ななつぼし」右：「つきはやか」
時期：9/16（「つきはやか」出穂期）



籾部分が非常に少ない（約3%）

「つきはやか」での
収量：3,400 kg/10a
所得：83,715円/10a
他地区事例収量(約1,400kg/10a)
の2.4倍と高収量！



既存品種よりも高収量であり、
十分な収量を確保でき、所得
も多い！



給与の様子（乳用牛）



この作物なら収益性もいいし、乾田直播栽培で
できるから輪作品目の一つとして利用する方向性
はありそう！

この飼料は良好な発酵(Vスコア約90)してるし、
なんといっても乳用牛、肉用牛の食いつきがい
い！このWCSなら利用価値はある！



耕畜ともに導入に対して前向きに！

4 今後の活動 *****

- ・地域内における乾田直播栽培の導入支援
- ・飼料用イネの種子確保、品種および収穫体系の検討

